

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



信頼してもらえ
る
消化器疾患の
診療を提供します

消化器内科部長 立山 雅邦

特集

消化器内科のご紹介

- VOICE
- 慢性腎臓病 CKD 診療のご案内
- 研修医レポート
- くまびょう TOPICS
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明



096-353-6565
096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター

National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード

基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 政策医療の推進
2. 救急医療とがん診療の推進
3. 開放型病院による医療連携の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

消化器内科のご紹介

消化器内科部長
診療部長

たてやま まさくに
立山 雅邦



消化器内科は、最近の知識・医療技術と礼節をもって、良質で安全な医療を目指すという病院の基本理念のもと、がん医療と救急医療を中心に8名の医師で診療を行っております。消化器がんにおいて、治療前評価を行い、外科とのカンファレンスにて手術適応を含め検討し、治療方針を決定しております。消化管疾患では食道、胃や大腸の早期がんに対するESD/EMRを中心とした内視鏡治療をおこなっており、最近では表在性非乳頭部十二指腸上皮腫瘍(SNADET)の内視鏡治療も増加傾向です。また咽頭領域早期がんの内視鏡治療(ELPS)、GISTに対して外科との合同手術となるLECSにも取り組んでいます。進行がんにおいては、最近では化学療法の進歩は目覚ましく、免疫チェックポイント阻害剤を用いた治療も増加傾向で、最新のエビデンスをもとに日々取り組んでいます。

救急領域に関しては、消化器領域の救急疾患(急性

腹症、消化管出血など)について各科と連携して対応しております。特に胆膵疾患領域において胆石等による胆道感染は増加傾向で、それを反映してERCPを用いた内視鏡治療やIVR処置も多くなっています。

当然ながら、がん診療、救急領域以外にもクローン病や潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患、ウイルス性肝炎に加え、MASLDや自己免疫性肝疾患、肝硬変、慢性膵炎などの膵疾患など、一般的な消化器内科分野の疾患の治療や消化器内視鏡治療を、カンファレンスを交えて治療方針を決定して行っております。

また研修医の先生が当科を研修の科として選択していただくことが多く、消化器内科として若手医師の教育や肝疾患における肝炎コーディネーターの育成、市民向けの肝臓病教室や公開講座などの社会活動も行っています。



当科スタッフと研修医の先生方

VOICE

登録医の声



医療法人財団聖十字会
西日本病院

院長 ありま としゆき
有馬 寿之



◆貴院のアピールをお願いします

熊本市東区にある、急性期病棟 159 床・地域包括ケア病棟 40 床・回復期リハビリ病棟 140 床・障害者一般病棟 146 床・医療療養 I 病棟 40 床を有する 525 床の地域完結型病院です。在宅医療においては、訪問看護・介護・リハビリ、居宅介護支援事業所・通所リハビリや健診センターと幅広く地域の医療・介護・保健に貢献する病院として努力しております。

2025 年には、同法人病院が敷地内に移設予定です。更なる医療介護・福祉連携を図っていきたいと思いますので、今後も宜しくお願い致します。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

私の趣味は魚釣りです。週末天気の良い日は天草西海岸に船釣りに出かけます。タイラバと呼ばれる鯛釣りとティップランエギングと呼ばれるアオリイカ釣りを楽しんでおります。さらに、今年からウナギの穴釣りを始めました。ミミズを刺した針と糸だけの簡単な仕掛けを短い竹の先端に付け大きな石の底穴に差し込み鰻を釣ります。まさか釣れると思わなかったのですが比較的簡単に釣れることと凄まじい鰻の力にすっかり魅了されました。小さな川の河口付近には必ず鰻がいますので一度皆さんもチャレンジしてみてもと思います。

◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

多くの患者さまをご紹介頂きありがとうございます。また、当院の診療科で対応困難な患者さまを診療して頂き、大変感謝申し上げます。

当院は多くの病床機能を持っております。できる限り速やかな受け入れ等をさせて頂きたく存じますので、今後とも宜しくお願い致します。



【診療科目】

総合内科・消化器内科・代謝内科・呼吸器内科・循環器内科・血液内科・神経内科・脳卒中内科・呼吸器外科・脳神経外科・外科・整形外科・リハビリテーション科・皮膚科・眼科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・歯科・放射線科・麻酔科

【診療時間】

平日：8：15～16：30 土曜：8：15～11：30
夜間：16：30～8：15 救急外来対応いたします。

【住所】

〒861-8034 熊本市東区八反田 3 丁目 20 番 1 号

【TEL】

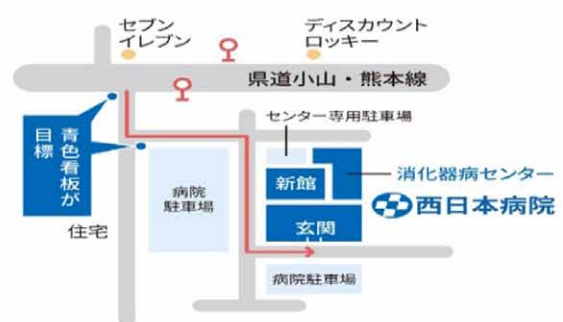
096-380-1111

【FAX】

096-380-0539



病院付近拡大図





熊本医療センター 慢性腎臓病CKD診療のご案内

多職種CKDチーム医療で熊本の腎臓を守ります！

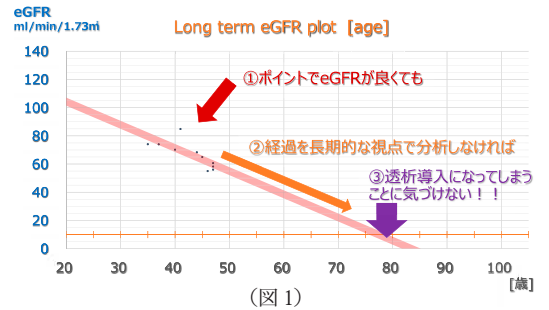
熊本医療センターでは医師・看護師・栄養士・薬剤師・理学療法士からなる多職種CKDチーム医療で、CKD対策を行っています。また、CKD外来も開設しています。当院のCKD診療についてご紹介させていただきます。是非、ご活用・ご紹介をお願いいたします。

専門医チームは①これまでの腎機能データや蛋白尿を分析して透析の可能性、治療強化の必要性を‘見える化’し、(図1) かかりつけの先生・患者さんと危機感を共有しながら、腎生検の必要性の判断、CKD治療薬導入ならびに多職種CKDチームの介入をおこなっています。②逆紹介後も、CKD外来において多職種介入でかかりつけの先生を継続支援します。③その際、CKD対策についての情報共有を当院CKDチームとかかりつけの先生との間で確実にできるよう、CKD診療情報提供書、CKD療養計画書、栄養情報提供書を用意しております。(図2) ④介入効果についても、かかりつけの先生・患者さんに‘見える化’してお示ししています。(図3)

CKD治療薬は格段の進歩を遂げています。蛋白尿改善やGFR経年変化の改善を通じて、透析そのものを防ぎ、CVDの発症を抑えて、良い人生を送っていただきたいと思えます。是非、当院にCKD患者さまのご紹介のほど、何卒よろしく願いいたします。

当院腎臓内科CKDチームの診療内容を資料としてご用意しております。患者さまへのご説明の際にお役立てくださいますとありがたく存じます。

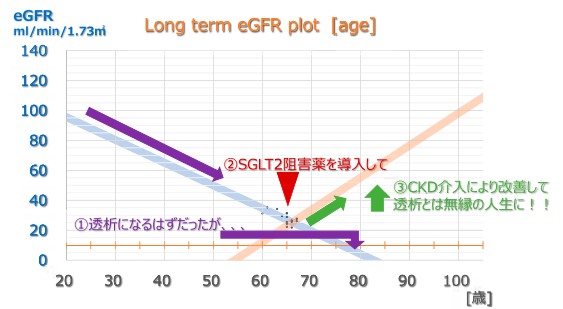
腎臓内科部長 梶原 健吾



(図1)



(図2)



(図3)

CKD診療での看護師のかかわり

患者さまが自分に合った方法で納得して治療を受けてもらいたい・・・そんな思いでCKD外来では患者さま1人1人と向き合いながら面談を行っています。腎臓は沈黙の臓器と言われているため、症状に気づかないまま進行していることがあります。腎臓の働きや検査結果の見方、家庭血圧測定の習慣化、生活習慣の見直しなどを行い「腎臓の機能を維持していくために何ができるのか?どうしたらできるのか?」を患者さまと一緒に考えていきます。

その1つとして生活目標を設定しています。慢性腎臓病 (CKD) と診断されると完治は難しく長期に渡り治療に取り組む必要があります。生活目標は患者さまが人生の楽しみや生きがい、やりたいことを続けるためのものです。また生活目標を設定し共有することで、各専門職からなるCKDチームからの具体的なアプローチが可能となり、目標を達成できるよう一緒に取り組むための患者さまと医療者を繋ぐ架け橋となります。そして、当院のみではなく地域とも共有し切れ目のない支援を続けていきます。

「話を聞いてもらってほっとした。楽しかった。また、頑張ってみよう。」と受診を終えた患者さまに感じて頂けるような外来を目指しています。

CKD外来担当看護師 杉谷 珠美



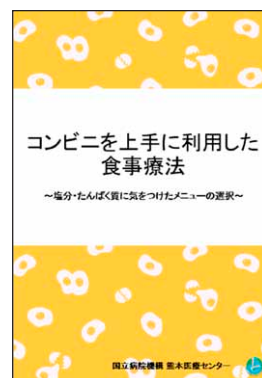
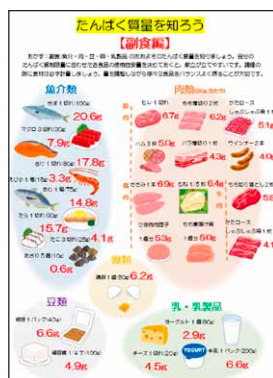
柏木 千穂



CKD 診療での管理栄養士のかかわり

慢性腎臓病 (CKD) 患者さまの透析予防のために、医師、看護師、薬剤師とともに管理栄養士が連携しながら栄養面談を実施しています。

腎臓の機能維持のためには、適切に塩分とたんぱく質 (肉や魚、卵、豆腐に含まれる栄養素) を使用し、お食事をされることが重要とされています。我々、熊本医療センターの管理栄養士は、一方的な指導にならないように、患者さまの食事療法に関する理解度や生活目標 (LifeTarget) を確認しながら、栄養面談 (食事調査から栄養評価、食事療法の提案) を行い、ご自宅での食事の準備から喫食までの対応を説明させていただいています。昨今は、患者さまの高齢化に伴い、低栄養や筋肉量の減少を防ぐことも重要となっているため、栄養面談を通して、患者さま一人一人に合った食事療法を提案していくことを目指しています。主な食事療法の介入の流れや資料媒体は右記のようなものを使用しています。



腎臓内科担当管理栄養士 松熊 真由



加來 正之



CKD 診療での薬剤師のかかわり

熊本医療センター薬剤部は、CKD 患者さまが、安全に服薬でき、安心して日常生活を過ごせるようにお手伝いをします。

CKD 患者さまは、腎臓の機能が低下している状態です。そのため、医師から処方されたお薬が効きすぎるリスクを伴うことがあります。薬剤師は、患者さま一人ひとりの腎臓の機能を考慮しながら、お薬の投与量や投与の間隔を医師と共に考えています。腎臓の機能を低下させるお薬が処方された際は、代わりとなるお薬を医師へ提案します。

また、複数のお薬を服用される場合には、服用するタイミングが同じお薬を一つの袋にまとめて一包化しています。CKD 患者さまとご家族が、お薬と長くお付き合いいただけるよう、ライフスタイルに応じた服薬支援を行っています。

当院以外の医療機関で処方されたお薬や、ご自宅で服用されている健康食品などが、CKD 治療薬に影響がないか確認し、医師や他の医療スタッフと情報共有を行っています。

CKD 患者さまへより安全な医療を提供できるように心がけています。

薬の服用などで心配なことがあればぜひ薬剤師を頼ってください!!

薬剤師 橋本 崇広



CKD 診療での理学療法士のかかわり

CKD の重症化を予防することは早急な課題であり、その治療戦略の一つとして運動療法が注目されています。

当院では、CKD 患者さまの健康維持と生活の質 (QOL) 向上を目的に、運動療法を取り入れています。具体的には、入院患者さまを対象に、専門スタッフが一人ひとりの腎機能に応じた評価を実施しています。評価内容には、歩行耐久力、歩行速度、バランス能力、握力、下肢伸展筋力、体成分分析などが含まれます。

評価結果を踏まえ、ウォーキングやストレッチを中心とした有酸素運動、自覚症状に応じたレジスタンス運動を指導しています。これにより、心肺機能の向上や筋力低下の防止を目指しています。また、運動中の安全性を確保するため、入院中に定期的な体調チェックを行い、適切な負荷の調整や動作指導を徹底しています。

こうした運動療法の実践を通じて、CKD の進行抑制や合併症予防、さらには透析開始の遅延が期待されます。運動を生活の一部として取り入れることで、退院後、患者さまが安心して前向きな生活を送れるよう、患者さまに寄り添いながら支援してまいります。

理学療法士 久保田 啓太



村上 寿一



研修医レポート

Medical Intern Report

歯科臨床研修医

こんどう まなか
近藤 真佳



こんにちは。歯科臨床研修医の近藤真佳と申します。九州歯科大学を卒業し、4月から熊本医療センターで研修させていただいております。歯科臨床研修は1年であり、早いもので残るところ3カ月となりました。先生方や衛生士の方々のおかげで充実した日々を送らせていただいております。

歯科臨床研修が始まったことでパソコンを扱う時間が格段に増えました。学生時代パソコンを使うことはほとんどなく、慣れるまでに時間がかかりました。また、カルテを記載する上で用いる

独特な文言にも苦戦しました。大学で学んだ事のないことばかりで、はじめはカルテを読み解くのに時間もかかりました。

4月、患者さまに対する問診で、私はまずなにか聞き出したいのかわからず、どの患者さまにも同じような質問をしてしまっていました。そこで先生方からアドバイスをいただき、病気を予想しつつ何を聞くのかを考えながら問診するには、さまざまな病気の症状や経過について理解しておくべきであり、これからも勉強を続けていく重要性について再認識しました。

外科処置に関しては先生方のご指導のもと、局所麻酔から抜歯まで一連の手技をさせていただくことも多くなってきており、口唇裂傷などの外傷に対する処置もさせていただくようになりました。少しずつできることが増えてきた半面、責任感を感じることも増え、術中だけでなく術後のことも考えられるようになりました。

毎日多くのことを経験させていただいている中で、患者さまにとって最良の選択ができるよう、知識も手技も一人前の歯科医師となるためにこれからも日々勉強を重ねていこうと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしく申し上げます。

歯科臨床研修医

おがた みずほ
緒方 瑞穂



こんにちは。歯科研修医1年目の緒方瑞穂と申します。

日本歯科大学を卒業し、今年の4月から熊本医療センターで研修をさせていただいております。まだまだ不慣れなことも多くご迷惑おかけすることも多々ありますが、指導して下さる先生方、手厚くサポートして下さるスタッフの方々のおかげで充実した研修医生活を送ることができています。

当院の歯科研修の特徴を3つ紹介させていただきます。

1つ目は、口腔内の全ての疾患に触れる機会が多いことです。

癌を始めとし小児の歯牙の疾患まで多岐に渡る疾患に触れることは口腔外科にしかない利点です。

2つ目は医科との連携が充実している点です。他分野との情報交換により、全身的に疾患を診る視点が育われます。また医療従事者の各々の患者さまへの視点も知ることができる点も総合病院ならではの魅力だと考えています。

3つ目はカリキュラムが充実している点です。口腔外科の中でのスキル向上のための細やかなカリキュラムを始めとし、麻酔科、耳鼻科、皮膚科、形成外科などを学ぶ時期も設けられています。1つずつステップアップできる環境が当院では整っています。

以上の特徴より、当院で学ぶことで、少しずつですが自分の診断や治療法の選択肢を広げられているのを日々実感しています。国家試験の知識だけでなく患者さまの背景まで考えた診断・治療ができるのか、それを全うできるスキルが備わっているか、今も四苦八苦しながら日々学んでいます。

最後になりますが、少しでも歯科医師として成長し、患者さまや同じ環境で働く医療従事者の方へ還元できるよう日々精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

くまびょう TOPICS

12/22(日) | 公開肝臓病教室が開催されました。



【筆者】副薬剤部長：小園 亜希

令和6年12月22日(日)、「公開肝臓病教室」を開催しました。

「もっと知りたい 肝臓の話 ～肝臓で広がる地域の和～」をテーマとして、医師による「肝臓病の最新の話題」、薬剤師より「ウイルス性肝炎と進行肝がんの治療薬」、看護師より「肝臓病患者の生活の注意点」、そして、管理栄養士より「肝臓病と栄養」についての4講演を行いました。それに加えて、熊本県内在住の方にB型肝炎とC型肝炎の無料検査の実施や、各医療スタッフによる医療・健康相談コーナー等の幅広い内容で開催しました。

世界保健機関の提言によるウイルス性肝炎の蔓延防止を図ることを目的に、平成20年より国と地方自治体主導で肝疾患対策の取り組みが始まりました。近年ではウイルス性肝炎に対する治療が高い効果を上げており、生活習慣が要因となる非ウイルス性の肝がんが増加しています。演者の先生方には、肝臓を守るためには生活習慣の改善がとても重要であること、生活習慣を改善する方法を含めた内容で講演していただきました。参加者の皆様の熱心なまなざしがとても印象的でした。また、開催後のアンケートではたくさんのご意見をいただき、私どもスタッフにとってとても勉強になり、大変有意義な時間となりました。

参加者54名と多くの市民の皆様にご参加いただき、肝臓病について学んでいただけたものと思います。今後も地域の方々安心して暮らせるよう、また、「肝臓病の患者さまや肝臓に関心のある方」にとって正しい理解につながるよう肝臓病についての情報発信を行っていきたいと思います。

【場所】地域医療センター



2025年2月 研修のご案内

二の丸モーニングセミナー

日時▶ 2月6、13、20、27日(木) 8:15~8:45
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

第79回 診断と治療—最新の基礎公開講座— 〔日本医師会生涯教育講座2.5単位認定〕

日時▶ 2月8日(土) 15:00~17:30
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「糖尿病合併症の診療」

座長 土井内科クリニック理事長・院長 土井賢 先生

(1) 「糖尿病急性合併症の診療」

国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科部長 西川 武志

(2) 「糖尿病細小血管合併症の診療」

菊池郡市医師会立病院診療部長兼糖尿病センター長 小野 恵子 先生

(3) 「糖尿病大血管合併症の診療」

国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科副部長 木下 博之

熊本県臨床検査技師会・ 病理細胞部門【WEB】

日時▶ 2月13日(木) 18:30~20:00

熊本県臨床細胞学会 学術集会・総会

日時▶ 2月15日(土) 13:00~18:00
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

第310回 月曜会(内科症例検討会) 〔日本医師会生涯教育講座1.0単位認定〕

日時▶ 2月17日(月) 19:00~20:00
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修室2

1 腎臓内科からの一例 2 感染症科からの一例

第67回 熊本摂食・嚥下 リハビリテーション研究会

日時▶ 2月18日(火) 19:30~21:00
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「呼吸リハについて」

座長 熊本保健科学大学准教授 / 作業療法士 爲近 岳夫 先生

演者 熊本保健科学大学教授 / 理学療法士 久保 高明 先生

肝 臓 病 教 室

日時▶ 2月21日(金) 13:00~14:00
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修室2

令和6年度第2回開放型病院連絡会

日時▶ 2月22日(土) 18:00~20:00
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

小児科火曜会【WEB配信あり】

日時▶ 2月25日(火) 19:00~21:00
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修室1

第207回 救急症例検討会

日時▶ 2月26日(水) 18:00~19:00
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「急性中毒」(救急科・精神科)

研修へのお問い合わせはこちら
国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター (096) 353-3515 (直通)

研修センター
QRコード▶





令和7年2月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 村上 奈央	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	
	血液	河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 田口 詢	樋口 悠介 渡辺 美穂	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志 (午前新患) 西田 周平 (午前再診)	西田 周平 (午前新患) 武志 (午前再診)	西川 武志 (午前新患) 井手口 拓弥 (午前再診)	木下 博之 (午前新患) 瀬戸口 真衣 (午前再診)	井手口 拓弥 (午前新患) 木下 博之 (午前再診)	
	呼吸器内科		熊大医師 (院内コンサルト)				
	感染症内科		小野 宏	小野 宏		小野 宏	
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾 (CKD外来)	吉井 隆一	中村 朋文 (CKD外来)	東 大樹	富田 正郎 (PD外来) (療法選択外来)	
腫瘍内科	境 健爾	境 健爾 榮 達智	境 健爾 榮 達智	境 健爾 榮 達智 (1.3.5週)	境 健爾 榮 達智		
消化器病センター (消化器内科)	診察	1診	楠本 周平	杉 和洋	杉 和洋	立山 雅邦	
		2診	松山 太一	立山 雅邦	花園 ゆりか	花園 ゆりか	
		3診	山本 祐弥	赤木 由理恵	佐々木 大堯	佐々木 大堯	
	内視鏡	午前	立山 雅邦 佐々木 大堯 花園 ゆりか 赤木 由理恵	松山 太一 佐々木 大堯 楠本 周平 山本 祐弥	立山 雅邦 太一 周平 山本 祐弥	立山 雅邦 太一 大堯 ゆりか 祐弥 由理恵	松山 太一 周平 祐弥 由理恵
		午後	立山 雅邦 佐々木 大堯 花園 ゆりか 赤木 由理恵	松山 太一 佐々木 大堯 周平 花園 ゆりか 山本 祐弥	立山 雅邦 太一 周平 山本 祐弥	立山 雅邦 太一 大堯 ゆりか 祐弥 由理恵	松山 太一 周平 祐弥 由理恵
		腹部超音波	杉 和洋	花園 ゆりか	立山 雅邦	岡本 有紀子 赤木 由理恵	杉 和洋
心臓血管センター (循環器内科)	新患	木村 優一 山村 智	玉野井 俊介 有馬 義博 (隔週)	片山 哲治	田山 信至	松原 純一	
	再来	田山 信至	松原 純一	山村 智	玉野井 俊介 有馬 義博 白尾 友宏	片山 哲治 木村 優一	
(心臓血管外科)		手術日	岡本 健	田中 睦郎	手術日		
精神・神経科	初めの方						
	2回目からの方						
小児科	診察	水上 智之	興梠 雅彦	水上 智之	水上 智之	渡邊 優	
	免疫	水上 智之		水上 智之	水上 智之		
	血液	右田 昌宏		横山 智美		右田 昌宏	
	アレルギー		渡邊 優				
外科	中尾 日高 陽佑 香織 (隔週)	水元 孝郎 松本 克孝 高津 研翔		岩上 志朗	宮成 信友 黒木 秀幸	久保田 竜生	
脳神経センター (脳神経外科)		中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	堀 遼太 大塚 忠弘	中川 隆志	伊東山 剛 大塚 忠弘	
	1診	幸崎 弥之助	田北 智裕	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	
(脳神経内科)	2診	高松 孝太郎	北坂 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助	田北 智裕	
整形外科	午前	1診	満瀬 葉介 (新患)		前田 智 (新患)	寺本 周平 (新患)	
		2診	福元 哲也 (新患)		福元 哲也 (新患)	中馬 東彦 (新患)	
		3診	福田 和昭 (新患)	手術日	福田 和昭 (新患)	東 宗一郎 (新患)	
	午後	1診	寺本 周平 (再診)		松下 祥大 (再診)	満瀬 葉介 (再診)	
		2診	福元 哲也 (再診)		東 宗一郎 (再診)	中馬 東彦 (再診)	
		3診	福田 和昭 (再診)				
泌尿器科	前田 喜寛 担当医	菊川 浩明 智洋 高橋 えりか	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 大輔 村上 栄敏	菊川 浩明 担当医		
産婦人科	高木 みか 瀬尾 優太郎	山本 直 純子 前田 菜々	手術日	高木 みか 坪木 瀬尾	山本 直 前田 菜々		
感覚器センター (眼科)	榮木 大輔 中原 敦子 渡邊 隆弘	(手術日)	榮木 大輔 中原 敦子 渡邊 隆弘	(手術日)	榮木 大輔 中原 敦子 渡邊 隆弘		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 寺田 夕希	手術日	担当医	上村 尚樹 寺田 夕希		
感覚器センター (皮膚科)	初診 (紹介あり)	石橋 卓行	牧野 公治	浦田 和美	担当医 (手術日)	哈 斯塔 (ハスタ)	
	再診 (初診その他)	浦田 和美 石橋 卓行	哈 斯塔 (ハスタ) 牧野 公治	石橋 卓行 浦田 和美	担当医 (手術日)	牧野 公治 哈 斯塔 (ハスタ)	
難治性皮膚疾患治療センター	午前10時～、1日1例限定 詳細は、熊本医療センター皮膚科 Web サイトをご覧ください						
形成外科	(午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 蓮田 敏也 堺 菜穂	(午後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午後) 大島 秀男 蓮田 敏也 堺 菜穂	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 蓮田 敏也		
放射線科	治療 (予約制)	富高 悦司、大塚 崇裕					
	画像診断	根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、神戸 あゆみ、大塚 崇裕、吉松 俊治					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談)					(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)	
緩和ケア外来	境 健爾	境 健爾	境 健爾	境 健爾 (1.3.5週)	境 健爾 (2.4週)		
歯科 口腔外科	森 久美子 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野	中島 健 森 久美子 東 真有香 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 東 真有香 中尾 美文	中島 健 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野		
救命救急センター	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 國友 耕太郎 吉村 文孝 深水 浩之 杉野 大樹	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 國友 耕太郎 久保崎 順子 深水 浩之 杉野 大樹	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 深水 浩之 文彦 大樹	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 深水 浩之 文彦 大樹	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 深水 浩之 宮内 大介 杉野 大樹		
看護外来	ストーマ	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師		
	がん看護	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師		
	移植後フォローアップ	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師		

(注) 担当医は都合により変更することがあります。 手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R7/2/1